

16. 若者が山梨県に定着するには何が必要か ～空き家の活用～
青洲高校

私は、山梨を繁栄させるために、空き家率全国3位の山梨県の、空き家を利用した日常生活スペース作りを提案します。インターネットのフォームで利用申し込み窓口をつくり、駅の近くでは文化的な会合や軽スポーツや育児、山村ではキャンプや休憩用にする事で、楽しくにぎやかな環境が生まれます。自然や歴史、文化の活用による生活の喜びが、自然に定住者を増やすと考えます。

チャージしたお金で通れる改札で手続きを簡素化します。施設の運営は民間事業者・NPOが行います。管理には地元の学生ボランティアがあたり、福祉の重要性を体験する機会とします。低予算・低利用料金、運営にあたる地元の人たちへの利益の還元で、経済状態が改善され、並行して交流が活性化することがこのプランの狙いとなります。



17. 美しい清流を守るために取り組むべきこと 塩山高校

私は、美しい清流を守るために、イベントの開催について提言します。清流を守るためには、まず、現状を知る必要があると思います。たとえば、人の営みが富士川のアユの生息量を激減させていることなどです。

そこで、周知する機会がないかと考えたとき、私が参加したゴミ拾いを競い合う「スポゴミ甲子園」が思い浮かびました。そこには、自分の想像を上回る以上の参加者がいました。

このように、参加しやすいイベントが開催できれば、河川の実態を周知させ、清流を守る活動にもつながると思います。

そして、清流を守ることは、自然の豊かさをアピールでき、山梨の魅力アップにもつながると思います。ぜひボランティア活動やイベントなどを清流域で開催していただきたいと思います。



18. プラスチックごみの削減に向けて私たちができること 山梨英和高校

本校では、プラスチックごみ削減の一環として、2019年から、使用済みコンタクトレンズケースの回収に取り組んでいます。2021年には、トータルで20kgを超える量のコンタクトレンズケースを回収することができ、プラスチックごみ削減に微力ながらも貢献できたと思っています。

一方、山梨でのプラスチックごみ削減への取り組みとしては、「海ごみゼロプロジェクト in やまなし」があり、リサイクルや清掃活動が行われています。また、全国的には「プラスチックスマート」という取り組みが行われており、プラスチックごみのポイ捨て撲滅、分別回収、排出抑制、リサイクル・リユースなどの推進を目指しています。しかし、これらのプロジェクトは広く周知されているとはいえないので、これらの活動を紹介する動画を作成し、プラスチックごみ削減を広く山梨県民に訴えていくべきだと提言します。

